

タイトル「2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)」、フォルダ「大学院危機管理学研究科」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習Ⅳ		
担当教員	岡田 太		
対象学年	2年	開講学期	後期
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	DP2 [学識・専門技能] 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能（30%） DP3 [思考力・判断力・表現力] 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力（40%） DP4 [主体性・多様性・協働性] 多様な価値観や立場を尊重しつつ、自らの明確な考えをもとに、他者とコミュニケーションを確立する能力（30%）		
教員の実務経験	特になし。		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	<p>危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために、必要な社会科学的研究手法を学び、学生が自ら研究テーマを設定し、論文を執筆し、成果を発表するための指導を行う。本演習では、危機管理学、法学に関する研究を、修士論文としての形式と実質を備える段階にまで高めるための応用的なプロセスとして、文献収集や社会調査、事例分析や判例研究を、それぞれテーマ具体的に実施する。</p> <p>これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とする。</p> <p>授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>■キーワード：災害危機管理リテラシー、学校教育、コミュニケーション</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 防災リテラシーをレベルアップし、普及させるための取組みと課題</p> <p>■授業の目的 防災リテラシーよりも広義の「災害危機管理リテラシー」の普及・啓蒙に向けて、受講者との対話を通じて、現状と課題について考察することが目的です。</p> <p>■授業のポイント 最近よく使用されている「防災リテラシー」からスタートし、それに危機管理学(risk management)の概念を取り入れた「災害危機管理リテラシー」を提案します。また、学校教育としてのリテラシーは段階的に学習することが大切です。災害に対するリテラシーはこれからの分野であり、参考文献が充実していないため、他分野のリテラシー教育なども参考にします。積極的な資料収集、発表、意見交換を通じて新たな領域を作り上げる開拓型の授業です。</p>		
総合到達目標	<p>■設定された課題について、主体的に研究活動に取り組み、積極的に質問し、意見交換を行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「防災リテラシー」に関する研究を分類することができる（第1回）。 ・「防災リテラシー教育」と「防災教育の違い」を説明することができる（第2回）。 ・学校内・学校外の「防災リテラシー」の概要について説明することができる（第3回～第6回）。 ・金融教育を参考に、「防災リテラシー教育」のあり方について示すことができる（第7回）。 ・「防災リテラシー」の発展形としての「災害危機管理リテラシー」がなぜ必要なのかを説明することができる（第8回）。 ・適切な聴き取り調査を行うことできる（第12、第13回）。 ・受講生自身でテーマを設定し、より高い水準のプレゼンテーションとレポート作成を行うことができる（第11、第14、第15回）。 		
成績評価方法	<p>■授業内の発表・レポートなど(60%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中校、大学の「防災リテラシー」の現状（第3、第4回）（20%）(DP2,3,4) ・「防災リテラシー（教育）」についての発表とレポート（第14、15回）（40%）(DP2,3,4) <p>（評価の観点） 発表する内容についての的確な理解、表現技能やコミュニケーション能力について総合的に評価します。（フィードバックの方法） 各自の研究発表後に、演習中に評価・議論を行います。</p> <p>■授業参加(40%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表に対するコメントや意見交換、質疑応答（40%）(DP4) <p>（評価の観点） 発表者に気づきや改善を促すようなものであるかについて評価します。</p>		

	(フィードバックの方法) 各自の研究発表後に、演習中に適宜評価を行います。	
履修条件	なし。	
履修上の注意点	授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、または各授業を補完・代替するためオンライン授業（例：オンラインでの聞き取り調査）を一部取り入れる場合があります。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 授業の概要・進め方と防災リテラシー研究 ②授業概要 授業の概要と進め方を説明してから、「防災リテラシー」に関する先行研究を整理します（講義・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) CiNiiで「防災リテラシー」で検索した結果、該当した論文等をグループ分けする。 ④復習(120分) 「防災リテラシー」研究に対する多様なアプローチと「防災リテラシー」の概念を整理する。関連文献を精読する。
	2	①授業テーマ 防災リテラシーの範囲 ②授業概要 太田・松野(2021)を参考に、防災リテラシーの範囲、防災教育との違いを考えます（講義・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 太田・松野(2021)をよく読む。 ④復習(120分) 太田・松野(2021)を精読する。
	3	①授業テーマ 学校における防災リテラシー教育(1) ②授業概要 小中学校における防災リテラシー教育（防災教育）を発表し、意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) テーマに関する資料を収集し、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。
	4	①授業テーマ 学校における防災リテラシー教育(2) ②授業概要 高校、大学における防災リテラシー教育（防災教育）を発表し、意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) テーマに関する資料を収集し、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。
	5	①授業テーマ 学校における防災リテラシー教育(3) ②授業概要 学校段階別に防災リテラシー教育（防災教育）を整理し、問題点や課題について意見交換を行います（講義・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) テーマに関する資料を収集し、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。
	6	①授業テーマ 学校における防災リテラシー教育(4) ②授業概要 学校以外の地域・職場等での防災リテラシー教育（防災教育）をとりあげます（講義・議論）(DP2,3,4)。 学校教育との違いについても検討します（講義・議論）(DP2,3,4)。 「ぼうさいカフェ」「アプリ」などリスク・コミュニケーションからの視点から整理します（講義・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) テーマに関する資料を収集し、発表の準備を行う。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。
	7	①授業テーマ 防災リテラシー教育のあり方：金融教育を参考に ②授業概要 金融教育を参考に、防災リテラシー教育のあり方を考えます（講義・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 内閣府(2023)その他関連する資料・文献で学習する。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。
	8	①授業テーマ ゲスト講義 ②授業概要 ゲストを招待し、防災リテラシーについて講義していただきます（講義・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分)

	<p>関連資料を読み込む。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。</p>
9	<p>①授業テーマ 防災リテラシーの新たなカタチ：災害危機管理リテラシー(1)災害後の生活再建 ②授業概要 災害後の生活再建に関するリテラシーについて検討します（講義・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 事前配布の資料を読む。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。</p>
10	<p>①授業テーマ 防災リテラシーの新たなカタチ：災害危機管理リテラシー(2)資金管理 ②授業概要 保険を含む資金面での手当てを検討します（講義・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 事前配布の資料を読む。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。</p>
11	<p>①授業テーマ 研究発表の準備(1)概要書の作成 ②授業概要 これまでの授業をふまえて、課題について発表するためのアウトラインを作成し、意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 資料作成 ④復習(120分) 資料作成と文献調査</p>
12	<p>①授業テーマ 研究発表の準備(2)聞き取り調査計画 ②授業概要 課題発表に向けての聞き取り調査計画を立て、意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 調査計画の作成 ④復習(120分) 調査の精査と文献調査</p>
13	<p>①授業テーマ 研究発表の準備(3)聞き取り調査の実施 ②授業概要 聞き取り調査を実施します（議論・分析）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 調査項目の再確認 ④復習(120分) 調査内容の整理、文書化</p>
14	<p>①授業テーマ 研究発表(1)中間発表 ②授業概要 中間発表を行い、意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 資料作成 ④復習(120分) 修正と追加調査</p>
15	<p>①授業テーマ 研究発表(2)最終発表 ②授業概要 最終発表を行い、意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 資料作成 ④復習(120分) 修正とレポート（小論文）の完成、提出</p>
関連科目	「危機管理学研究演習Ⅰ（R5MR0029）」、「危機管理学研究演習Ⅱ（R5MR0030）」、「危機管理学研究演習Ⅲ（R5MR0031）」
教科書	太田敏一・松野泉(2021)『防災リテラシー(第2版)』森北出版
参考書・参考URL	高橋誠・木村玲欧(2020)「1(6)防災リテラシー」文部科学省 https://www.mext.go.jp/content/20210930-mxt_jishin01-000018169_14.pdf 内閣府「防災カフェ」 https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kakusyu_gyoji/bousai-cafe/ 内閣府(2023)「金融リテラシー」って何？最低限身に付けておきたいお金の知識と判断力」 https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201404/1.html その他、適宜、必要な文献を紹介します。

連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に伝えます。 ■オフィスアワー 授業の前後、質問や相談に応じます。それ以外の時間帯については、メールで事前にアポイントメントを取るにより、原則オンラインで対応します。
研究比率	

